



大竹のぼる 自民党公認 提案型の議会へ

暮らしやすさと賑わいを

公共性の高い民間企業との協力体制

イトーヨーカ堂と連携した街づくり

イトーヨーカ堂は全国で撤退やリニューアルなどの大改革を進めており、竜ヶ崎店も撤退の噂が持ち上がりました。買い物の利便性など地域にとって重要な施設であることは変わりなく、周辺の街づくりと合わせ地域の有識者によるリニューアルプロジェクトを提案しています。

安心安全の医療体制づくり

済生会病院のさらなる拡充

救急受け入れ体制強化へ

医療体制を整えることは、安心安全な暮らしに非常に重要な課題です。
例えば行方地域医療センター規模縮小のようなことが起きれば、私たちの暮らしは安心できません。済生会病院の救急受け入れ体制強化や医師確保が龍ヶ崎には欠かせない政策です。

令和2年から始まる財政難

令和10年には

約47億円の収支不足！

今後建設予定である道の駅や新学校給食センター整備、公共施設再編、インフラ整備などの為、令和2年から収支不足が発生し、令和10年には約47億円もの収支不足が出る見通しが公表されています。財政難が起きれば行政サービスの低下が懸念されます。

観光農業の推進 佐貫周辺と松葉周辺の連携を

議員自らが提案していく時代です

暮らしやすく賑わいのある街、安心安全の医療体制を進めていくうえで必要な財源は、この龍ヶ崎市の資源・資産を活かすことで生み出すことができ、様々な政策を実現する力になります。

その一つとして基幹産業でもある農業を、スマート農業で活かした観光農業やコンパクトシティー（都市機能、住環境、商業施設などの効率的な配置の見直し）の整備を提案しています。